

2025 年 7 月 10 日

各 位

株式会社北洋銀行

お客さま 16 社と「サステナブル経営支援ファイナンス」 【目標選択型】の契約を締結しました

北洋銀行(取締役頭取 津山 博恒)は、お客さまのサステナブル経営を支援しています。

今般、2025 年 5 月から 6 月にかけて、下記の通り、お客さま 16 社と「サステナブル経営支援ファイナンス」【目標選択型】の契約を締結しました。本ファイナンスは、持続可能な経営の実践に向け、北海道のSDGs 推進ビジョン等に整合した目標設定と、社会価値創出のストーリー発信をサポートするご融資です。

近年、社会的にサステナビリティへの取り組みに対する関心が高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出につながることから、多くの企業がサステナブルな事業活動を推進しています。

当行は今後も、ほくようサステナブルファイナンス等を通じ、北海道を営業基盤とする金融機関として環境・社会問題に前向きに取り組むお客さまを支援してまいります。

記

サステナブル経営支援ファイナンス【目標選択型】ご契約企業の概要(五十音順)

会 社 名	株式会社アトリエサクラ
代 表 者	櫻井 琢也 様
所 在 地	北海道札幌市北区新川7条16丁目709-6

会 社 名	有限会社アニスト
代 表 者	小澤 正直 様
所 在 地	北海道札幌市白石区菊水元町2条3丁目4-18

会 社 名	株式会社有田屋
代 表 者	有田 知美 様
所 在 地	北海道札幌市豊平区月寒東4条15丁目2番14号

会 社 名	泉工業株式会社
代 表 者	泉 雅輝 様
所 在 地	北海道札幌市豊平区美園1条3丁目1番1号

《北洋銀行グループ サステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

2025 年 7 月 10 日

サステナブル経営支援ファイナンス【目標選択型】ご契約企業の概要(五十音順)

会 社 名	医療法人財団老蘇会
代 表 者	矢崎 一雄 様
所 在 地	北海道札幌市中央区南14条西18丁目5番33号

会 社 名	置戸貨物自動車運輸株式会社
代 表 者	山中 靖司 様
所 在 地	北海道北見市東相内町108番地21

会 社 名	有限会社クリンアイデアル
代 表 者	高橋 潤 様
所 在 地	北海道札幌市東区本町1条4丁目5番18号

会 社 名	株式会社小竹美術
代 表 者	小竹 康晴 様
所 在 地	北海道札幌市中央区南11条西7丁目2-22

会 社 名	株式会社秀芳生花
代 表 者	黒澤 健一 様
所 在 地	北海道札幌市白石区流通センター7丁目3番5号

会 社 名	有限会社ソフトウェア・コンサルタンツ
代 表 者	平山 哲也 様
所 在 地	北海道札幌市中央区南10条西14丁目1番25号 GMSビル

会 社 名	株式会社竹川建築金物
代 表 者	竹川 真登 様
所 在 地	北海道北見市新生町58番地37

会 社 名	株式会社ディマイン
代 表 者	小林 祐介 様
所 在 地	北海道札幌市中央区南3条西10丁目1001番5号 福山南三条ビル7F

《北洋銀行グループ サステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

2025 年 7 月 10 日

サステナブル経営支援ファイナンス【目標選択型】ご契約企業の概要(五十音順)

会 社 名	株式会社ネクセル
代 表 者	近藤 雅法 様
所 在 地	北海道札幌市手稲区新発寒6条7丁目11番15号

会 社 名	株式会社北星貿易
代 表 者	烏 力吉 様
所 在 地	北海道札幌市東区東苗穂8条2丁目3番116号

会 社 名	北海道河川開発株式会社
代 表 者	多田 輝 様
所 在 地	北海道札幌市北区新川4条9丁目2-8

会 社 名	株式会社リビジョン
代 表 者	吉田 優 様
所 在 地	北海道江別市角山610番地1

以 上

《北洋銀行グループ サステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

株式会社アトリエサクラ

Sustainability Commitment

2025年6月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1

脱炭素社会実現への貢献



2

ワークライフバランスの充実



目標・KPIs

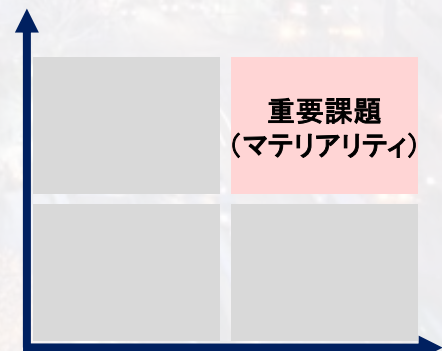
温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



当社の
企業成長

有限会社アニスト

Sustainability Commitment

2025年5月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

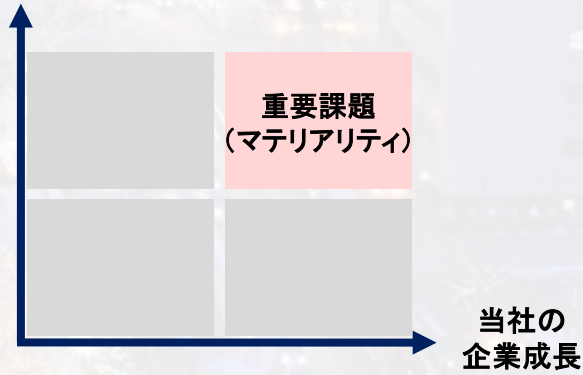
目標・KPIs

1	脱炭素社会実現への貢献	 	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	 	育児休暇取得率を、男性で64%以上、女性で90%以上にする。
3	ワークライフバランスの充実	 	有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社有田屋

Sustainability Commitment

2025年6月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1

脱炭素社会実現への貢献



目標・KPIs

温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

人的資本経営の推進

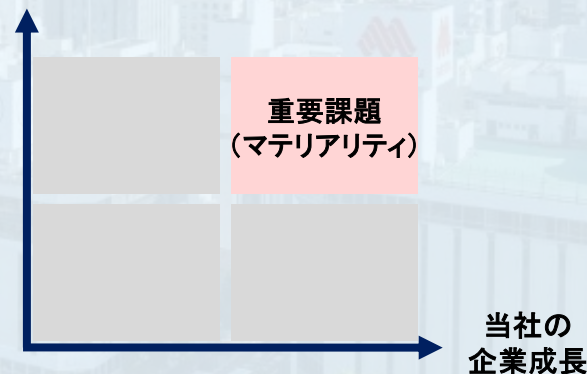


消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

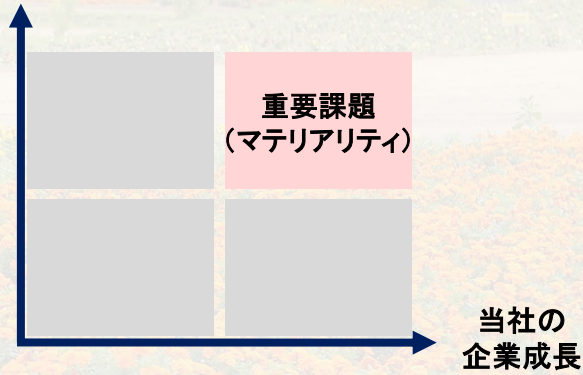
目標・KPIs

1	脱炭素社会実現への貢献	 	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	 	有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



医療法人財団老蘇会

Sustainability Commitment

2025年6月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

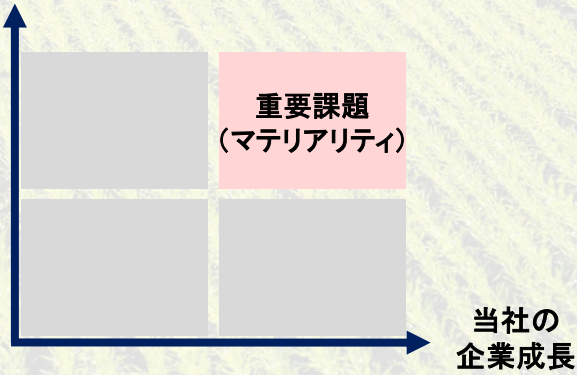
目標・KPIs

1	脱炭素社会実現への貢献	 	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	 	有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



置戸貨物自動車運輸株式会社

Sustainability Commitment

2025年6月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

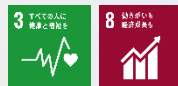
脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

人的資本経営の推進

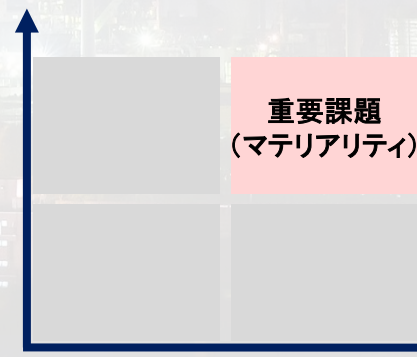


役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



当社の
企業成長

有限会社クリンアイデア Sustainability Commitment

2025年5月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

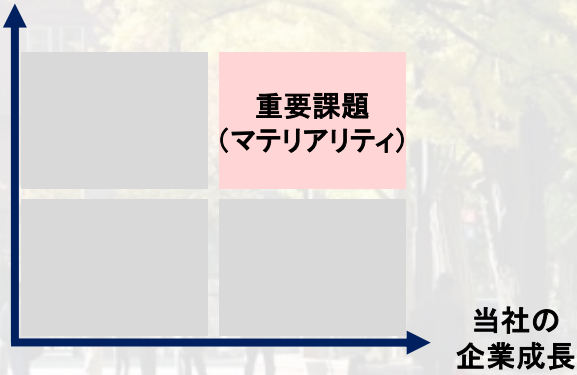
目標・KPIs

1	脱炭素社会実現への貢献	 	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	 	育児休暇取得率を、男性で64%以上、女性90%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社小竹美術

Sustainability Commitment

2025年6月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

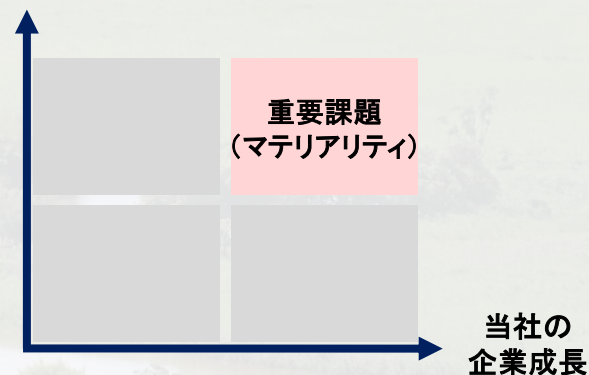
目標・KPIs

- | | | | |
|---|-------------|---|---------------------------|
| 1 | 脱炭素社会実現への貢献 |   | 温室効果ガス排出量の可視化を実施する。 |
| 2 | 人的資本経営の推進 |   | 消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。 |

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社秀芳生花

Sustainability Commitment

2025年6月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

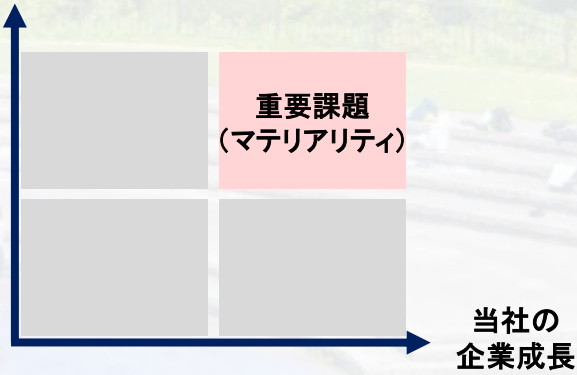
目標・KPIs

1	脱炭素社会実現への貢献	 	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進		役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。
3	ワークライフバランスの充実	 	正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



有限会社ソフトウェア・コンサルタンツ

Sustainability Commitment

2025年6月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

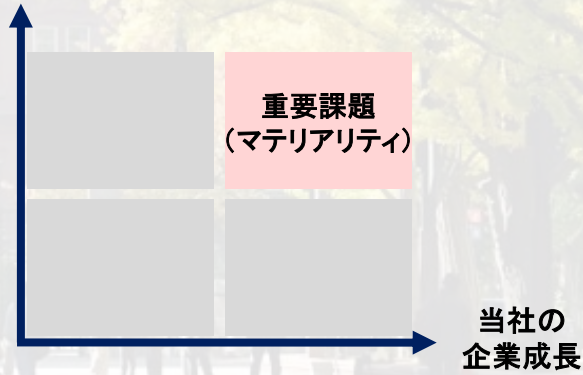
目標・KPIs

1	脱炭素社会実現への貢献	 	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	 	有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社竹川建築金物

Sustainability Commitment

2025年5月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

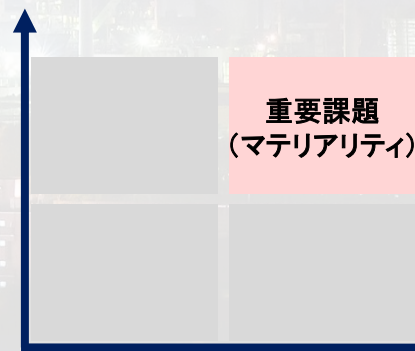


有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



当社の
企業成長

株式会社ディマイン

Sustainability Commitment

2025年5月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

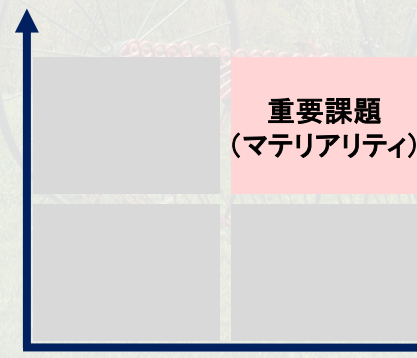
目標・KPIs

- | 重要課題 (マテリアリティ) | 目標・KPIs |
|--|---------------------------|
| 1 脱炭素社会実現への貢献
  | 温室効果ガス排出量の可視化を実施する。 |
| 2 ワークライフバランスの充実
  | 正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。 |

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



当社の
企業成長

株式会社ネクセル

Sustainability Commitment

2025年6月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

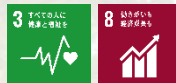
1

脱炭素社会実現への貢献



2

人的資本経営の推進



目標・KPIs

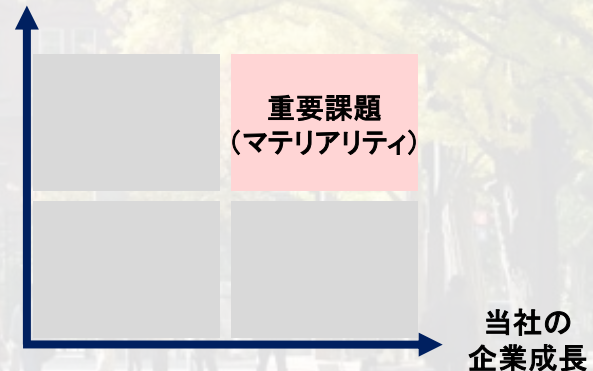
温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社北星貿易

Sustainability Commitment

2025年6月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

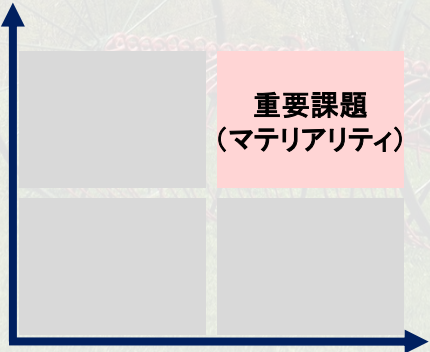
目標・KPIs

1	脱炭素社会実現への貢献	 	温室効果ガス排出量を2030年まで毎年2.7%以上削減する。
2	人的資本経営の推進	 	消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。
3	ワークライフバランスの充実	 	有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



当社の
企業成長

北海道河川開発株式会社 サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025 年 6 月 25 日

株式会社北洋銀行
新琴似支店

1. 基本情報

企 業 名	北海道河川開発株式会社	
代 表 者 名	多田 輝	
所 在 地	- 本社 北海道札幌市北区新川 4 条 9 丁目 2 番 8 号 - N20 分室 北海道札幌市北区北 20 条西 5 丁目 2-50 CROSSPOINT 2F - 帯広営業所 北海道帯広市西 4 条北 1 丁目 12 番地 2 C	
資 本 金	1,000 万円	
従 業 員	18 名 (2025 年 3 月現在)	
業 種	測量業	
事 業 内 容	- 水文調査(治水や利水計画時の基礎資料の整理・分析) - 深浅測量(河川やダムの堆砂量の計測等) - 測量業務全般	
沿 革	1973 年 1984 年 1991 年 1994 年 2012 年 2014 年 2022 年	株式会社北海道河川開発工務所 設立 北海道河川開発株式会社へ商号変更し、本社移転 資本金 7 百万円に増資 資本金 10 百万円に増資 帯広営業所 開設 多田輝氏が代表取締役役に就任 N20 分室 開設

2. 社是

心にいつも **3S** 精神

～笑顔で【Smile】誠意をもって【Sincerity】サービス精神を忘れずに【Service】～



北海道河川開発は、全従業員が「笑顔」を忘れず、「誠意をもって」業務に取り組み、どんなときも「サービス精神を忘れずに」取引先を含めたステークホルダーと信頼関係を構築し、新たな価値を創造していくことを使命として定義している。

3. 事業概要

北海道河川開発は札幌市に本社を置く測量企業である。札幌市のほか、帯広市に営業所を構え、道央圏を中心に道内全域のダムや河川などの流量調査や深淺測量を得意としながら、土地境界・道路・農地・山林・港湾など幅広い測量業務を受注。創業以来築いてきた技術・経験をもとに地域社会の安全・安心の基礎となる「測量」で貢献し、高い評価を得て数多くの測量実績を有している。

また、近年飛躍的な技術的進歩を遂げている測量技術の分野において「ドローンによる UAV 写真・レーザ測量」、「無人水上ポート」、「ナローマルチビーム」、「地上レーザスキャナ」などの測量機械を積極的に導入し、DX 化を推進している。

・ マルチビーム深淺測量



・ ドローンによる UAV 写真・レーザ測量



- ▲ マルチビーム深淺測量は測量船の左右方向に指向性の鋭い音響ビームを海底に向かって扇状に照射するため、船の進行とともに一括で多数点の水深値を計測できる測深システム。従来のシングルビーム測深が海底を線で計測しているのに対して、マルチビーム測深は「面的」に詳細な地形を計測するためダムや港湾・河川などあらゆる場面で水中を細かく知ることが可能となる。

出所：北海道河川開発 提供資料

北海道河川開発は、社是として掲げる「心にいつも 3S 精神」のとおり、測量企業でありながら笑顔、誠意、そしてサービス精神を持った対応を重要施策と位置付けている。この社是を実現するため、役職員の生産性の向上と労働環境の改善によるワークライフバランスの充実に取り組むことで、技術面だけでなく、豊かな人間性を育むことを重視している。

例えば、測量機材を載せる車両について、現場の社員の声を反映させ、測量に特化した車両に改良したことで作業効率を改善。また、測量の DX 化に加え、社内に図面の作成やデータ分析などを専門に行う「内業専門」の分室を立ち上げて分業を促進し、積極的に労働時間の短縮化に取り組んでいる。さらに、測量・分析業務を細かくリストアップし、スキルマップ化することで従業員別の習熟度を可視化。人事評価に客観性を持たせることに加え、社員に過度な負担が生じないようスキルの不足する項目には他の社員がサポートできるようチームワークを促し成長を促進させている。そして、従業員のエンゲージメント向上に向けた取り組みの一環として当社のロゴをあしらった季節ごとのユニフォームを制作し、社員の個性を大切にしながら、統一感のある服装を実現し、エンゲージメントの向上を図っている。

・ 測量に特化して改良された車両



- ◀ 車両に取り付けたスライダーのうえに無人ボートを積載することで積み下ろしにかかる負担を削減。
車内の両脇には測量機材を整頓できるよう特注の棚を取り付けており、測量データの入力ができるようなスペースも設けている。

出所：北海道河川開発 提供資料

・ 北海道河川開発 ユニフォーム



- ▲ 季節やシーンに合わせた多様なユニフォーム。安全性や機能性といった実用的な価値に加え、おしゃれで統一感のあるユニフォームにより社員の連帯感を高めている。

出所：北海道河川開発 提供資料

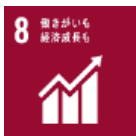
4. サステナビリティ目標

北海道河川開発の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、北海道河川開発の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、北海道河川開発のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	ワークライフバランスの充実
目 標 ・ K P I	有給休暇取得率を 70%以上にする。
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。

北海道河川開発株式会社

Sustainability Commitment

2025年6月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

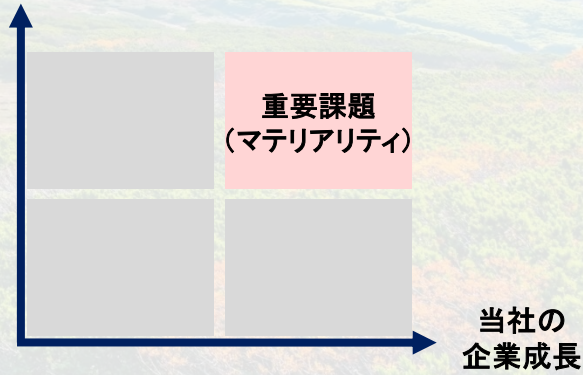
目標・KPIs

1	脱炭素社会実現への貢献	 	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	 	有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

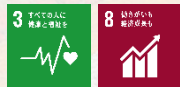
人的資本経営の推進



消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。

3

ワークライフバランスの充実



有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿

